

西川 通信 たけお



発行 西川たけお後援会事務局
〒564-0081 吹田市藤が丘町27-1-107
& Fax 06-6330-4455
E-mail xxxxx@mtj.biglobe.ne.jp

1 挨拶

財政総務委員長としての一年

吹田市議会の財政総務委員長に就任し、この五月で早くも一年を経たこととなります。

財政総務委員会は、事業部門を多く所管している他の委員会と異なり、「縁の下の力持ち」のような面があり、皆様にもその職務が分かりにくいようです。

しかし、歳入全般を所管し、吹田市の市政の方向を決める企画を所管するなど重要な委員会でもあります。

また、消防や防災といった市民の安全に直接かわる部署も所管しています。今年、「安心・安全の都市づくり宣言」が制定されたのも印象深く残っています。また、十年の節目で行われる消防功労表彰の場に来賓として立ち会えたのも、いい経験になりました。

委員会でもっとも大切なことは、委員の発言しやすい環境を整え、また分かりやすい言葉で進行を図ることです。

精一杯の努力はしましたが一方で、「ああすればよかった、こうすればよかった」と反省すべき点多かったと思います。

今後もし機会があれば、より透明度の高い、民主的な運営をさらに心がけていきたいと考えています。

これからの一年に向けて

大阪府に橋下知事が誕生し、市町村に厳しい財政で臨もうとしています。弱者への視点を欠いた点もあり、市民福祉を現場で担う吹田市としては、賛成できないところも多くあります。

しかし、一方で吹田市内もこれを契機に無駄を排する努力をいっそう重ねることが必要です。

とりわけ、平成二十一年度の目標値ですら九十%台半ばという経常収支比率は、他市に比べ税収構造に恵まれているにもかかわらず、恥ずかしい数字です。総労務費の削減が課題になります。

来年度は、財政健全化計画（案）後期財政健全化方策の最終年に当たります。今年度はそのスプリング・ボードともいえる重要な年です。政府も地方自治体の財政問題に危機感を抱き、財政健全化法を制定しました。

議員として、市の財政や行政にさらなるチェックを心がけたいと思います。

また、市長が選挙を経た代表であるように、議員（議会）も代表です。これからの議会にはチェック機能に加えて、行政への提言や意思実現機能も必要です。

この四月から池淵議員とともに「すいた市民自治」に参画し、この会派を足場に議会改革に取り組んでいきます。

三月議会での質問事項

市民参加のあり方について

市民参加も定着しつつあり、自治基本条例も市民参加を経て制定されました。

市民参加が単なる諮問にとどまらず、行政の意思決定に強く影響する今日、そこでの議論は限りなく市民総意に近いものでなければなりません。

参加する市民も無作為抽出で選ぶ場合があつていいのではないかと指摘しました。

公益通報制度の導入を

昨年から今年にかけて、企業や自治体などで不祥事が続発しました。また、その多くが内部告発によるものでした。

不祥事が起こる前に、職員からの告発や訴えを行政内部で受け止める制度を早急に整備すべきだ、と指摘しました。

安心・安全の都市作り宣言

吹田市の安心と安全を確保するために必要な事項として、次の諸点をたえました。

警察との連携強化策をどう進めるか。

自主防災組織について、地域が自主的かつ継続的に取り組める方向性を示せ。

学校の児童・生徒の安全確保策はどう進められているか。また、地域との連携はどうなっているか。

地域には警察官 Bや看護師 B、元自衛官などの人材がいる。そうした方々の発掘と協力が必要と考えるがどうか。

救助を必要とする人などの情報管理の充実や救急法の講習など最低限知っておかなければならないことの市民への普及が重要だが、どうなっているか。

若年者の就労支援

JR吹田駅前に、若年者の就労支援を担うジヨウカフェが開設される予算が可決されました。



三月議会で質問をする西川議員

た。それに関連して、市の採用枠を就職氷河期に新卒となった者まで拡大してはどうか、とたえました。

東部拠点開発について

基盤整備に約三十億円、土地購入費用として約二十三億円の予算が示されましたが、無定見な資金投入は許されません。

総事業費枠を決め公表すべきだと指摘しました。

水道部事業について

経営計画に従い、人員削減が進みましたが、職員のインセンティブが落ちています。

節目を迎える年でもあり、水道史をとりまとめはどうか、またGTP取得を機に、若手職員のスキルアップをさらに図ってはどうか、と質問しました。

鳥（新型）インフルエンザについて

鳥インフルエンザ対策など保健行政は、府の仕事とされていますが、大流行時にはそんなことは言っておられません。

市としてできる取り組みはすべきだ、と指摘しました。

四月一日より、市民病院の榎尾総長を医療監とし、新型インフルエンザや災害などの危機に対応するための新たな体制がとられることになりました。

昨年の11月14日、メイシアター会議室で議員有志に呼びかけて、「これからの議会のあり方」についての学習会を開催しました。



講師の高沖秀宣氏（隣が西川）

また、議会主催の報告会が県内数箇所で行われるなど、県民に開かれた議会を目指しての取り組みも活発なようです。

また、全国でも珍しい取り組みとしては、知事部局に負けない政策提言をしようと、議長のもとに外部機関（有識者などのメンバー）を委託契約の形で設置するという取り組みもされています。

三重県議会の基本理念は、「知事と議会は、対等・独立の関係」というものです。ここからすべての取り組みが始まっているように思われました。

講師には、三重県議会事務局の高沖秀宣氏を招きました。

三重県では、北川知事時代に事務事業を評価しチェックするシステムが作られ、議会のチェック機能が相対的に低下するという事態が起きました。

これに危機感を覚えた議会が高沖氏に指示して、議会の改革を進め、議会基本条例を制定されました。

今では、議場も知事と議員の対面式となっています。



H20 年度予算要望書の提出

〔要望〕 南海地震に備え、公的施設の耐震化を。

〔回答〕 耐震化計画を改定し、進める。

〔要望〕 老朽化した千一公民館の建替えを。

〔回答〕 関係部局と協議し、地元の声を聞きながら検討する。

〔要望〕 片山・東片山商店会の活性化策を。

〔回答〕 東部拠点による環境の変化に応じた対応を検討する。

〔要望〕 児童生徒に関する施設にAEDを。

〔回答〕 安全に配慮しながら、中学校から順次設置の予定である。

〔要望〕 JR 吹田駅周辺の違法駐輪撤去を土・日も徹底せよ。

〔回答〕 さらに効果を生むよう努めていく。

西川たけお議員の「フォーラム吹田」が平成 20 年度予算要望を提出し、市長や担当者と意見交換しました。

要望内容の一部を簡単にご紹介します。

〔要望〕 事務事業評価に検索機能を導入し、情報の共有化を進めよ。

〔回答〕 検索しやすいものとなるよう、工夫や改善に努める。

〔要望〕 使用料・手数料については、事業別コスト計算書を公開し、積算の根拠とせよ。

〔回答〕 事業別コスト計算書については、先進事例を参考に検討していく。



所属会派変更のご報告

西川たけお議員は、四月一日より、池淵佐知子議員とともに、「すいた市民自治」という会派に所属することになりました。

昨年四月の当選から一年間は、議会の構成や動向を観察するために「フォーラム吹田」といつ一人会派で活動していましたが、議会の中でより活動の幅を広げ、吹田市議会をより活性化するためには、二人以上の会派を作る必要があると考えたからです。

議会運営委員会は議会のあり方などについて議論する場ですが、二人以上の会派でなければ代表をさせませんでした。しかし、これからは「すいた市民自治」として代表を送り出すことができます。

市民が市政に意見を述べる、参画して意思決定の一翼を担う、こつとした機会は徐々にではありますが、増えてきました。

同時に、議会ももつと市民に目に見える存在にならなければなりません。いままで以上に政策立案能力を高めなければなりません。

これからも皆様の「期待」にこたえるべく、税金の使途に目を光らせ、更なる議会活動を進めていきます。

よりいっそうの「支援」と「助言」をよろしくお願いします。

合同議会報告会のお知らせ

日時：6月1日(日)午後1時30分～

場所：メイシアター1階集会室

主催：すいた市民自治フォーラム

参加議員：木下平次郎、西川たけお、

池淵佐知子、梶川文代

参加費：無料

議会活動のことや、3月議会の報告など、気楽な意見交換の場にしたいと思います。

ぜひ、ご参加ください。

〔4月前半の活動報告〕

4月1日

「府財政の実態について」

於) 弁天町市民学習センター

三つの特別会計で二百数十億の含み損があることや箕面森町着工の経緯、企業局の年度別資産推移などについて意見交換しました。

4月9～11日出張

4月14日

第67回近畿市民派議員交流会

於) 豊中市議会棟

市民参加のあり方などについて、基調講演の後、分科会方式で各市の現状や今後について意見交換しました。

「西川たけお後援会」

平成二十年度役員体制が決まる

新年度の役員体制が、次の通り決まりました。

後援会長 田淵三郎(藤が丘)

副会長 辻本光重(片山四)

〃 岡本一也(原町一)

〃 辻本武夫(原町一)

事務局長 樋口利一(片山四)

〃 次長 山本雅幸(原町一)

総務部長 辻本興一(藤が丘)

〃 次長 大島竹夫(片山四)

常任理事 村井晃(原町三)

〃 鳥井参吾(片山一)

以上のほか、各地区役員、諸団体担当役員が決まりました。

なお、顧問には次の方々に「就任」をお願いし、快諾を得ました。

顧問 辻本登作(片山四)

〃 脇繁(原町四)

〃 佐藤樹之(藤が丘)

これからも、市民や地域、また種々の団体の声をもとに、あるべき市政を発信し続ける後援会として運営してまいります。